Course nu	mber	U-L	AS06 200	)12 S	SJ41							
title in	労働と法基礎ゼミナール Introductory Seminar on Law of Employment and Labor Relations					name and	uctor's e, job title, departmen filiation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,OBATA FUMIKO			
Group Hu	Humanities and Social Sciences Fig.				Fiel	Field(Classification) Jur			risprudence, Politics and Economics(Issues)			
Language of instruction Japanese			Ole	Old group Group A			Number of credits 2					
Number of weekly time blocks	1		Class sty	ו סוי	seminar (Face-to	o-face co	urse)	Ye	ar/semesters	2025 •	Second semester	
Days and periods	Wed.2	2		Tar	get year	All stu	dents	Eli	gible students	For al	l majors	

## [Overview and purpose of the course]

授業回数はフィードバックを含め全15回です。

15回の授業において、新聞等で報道されている、または職場で身近に起こる、雇用や労働に関する 法律問題を10項目程度取り上げます。

毎回のテーマにつき、担当者による発表と、それに基づく全員でのディスカッションをしてもらい、各テーマについての知識を深め自分の意見を説得力を持って主張できるようになること、そして自分の担当したテーマにつき深く掘り下げて準備し、聞き手に分かりやすく効果的なプレゼンテーションをする訓練を積んでもらいたいと考えています。

## [Course objectives]

わが国の雇用社会で起こっている問題を深く理解し、ディスカッションを通じて、それに関する自 分の考えを明確にする。社会問題に関する概略と問題の所在を聞き手にわかりやすく正確に伝え、 また、議論の整理とまとめができるようになる。

## [Course schedule and contents)]

授業回数はフィードバックを含め全15回です。

15回の授業において何を誰がいつ発表するかは、初回の授業で受講生の希望を聞いて決める予定です。

|従来、例えば以下のようなテーマにつき発表とディスカッションが行われました。

- ・長時間労働
- ・高齢者雇用
- ・女性と労働
- ・障害者雇用
- ・パワー・ハラスメント
- ・賃金
- ・就職活動

その他の回には、評価が分かれている判決を解説し、それにつき全員で議論したり、またスピーチ の練習をする等の内容を予定しています。

コロナウイルス感染状況に鑑み、オンライン授業とします。Zoomを用いる予定です。毎週、クラシスまたはPandAでその週の内容を確認してください。

Continue to 労働と法基礎ゼミナール(2)

労働と法基礎ゼミナール <b>(2)</b>
[Course requirements]
None
[Evaluation methods and policy]
- 平常点(プレゼンテーションのできばえ50点、授業内での発言50点)
[Textbooks]
Not used
[References, etc.]
( References, etc. ) Introduced during class
[Study outside of class (preparation and review)]
プレゼンテーションを成功させるためには、念入りな準備が必要です。積極的に準備し、分かりや すく魅力のあるプレゼンテーションを作り上げてください。
[Other information (office hours, etc.)]
他の履修生の担当の回には、プレゼンテーションを聞いた後積極的にディスカッションに参加してください。相談があれば、授業の前後でもそれ以外の約束した日時にも乗りますので、申し出てください。 火曜12時40分~
[Essential courses]
-